



租税教室11/29



発行
平戸市立平戸小学校
文責 校長 永田健治

児童数 348名
教職員数 36名

創立150周年



発行：平戸市立平戸小学校 〒859-5121 平戸市岩の上町1509番地 TEL：0950-22-9230
E-mail：hirado-es@hirado.ed.jp ホームページ：「平戸市立平戸小学校」で検索



充実した2学期でした

令和6年もあと7日

よいお年をお迎えください

令和6年は、1月1日、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7・6の地震が発生し甚大な被害をもたらした暗いニュースから始まりました。(1日も早い復興を願っています。)

一方で明るいニュースも続きました。パリオリンピックで日本勢のメダルラッシュ。日本は海外開催の夏季五輪で過去最多となるメダル45個を獲得しました。また、メジャーリーグでは大谷選手が「50：50」。メジャー史上初、本塁打50、盗塁50の偉業をなし遂げました。同じ日本人として誇りに思います。

平戸小学校では、創立百五十周年という記念すべき年でした。PTA実行委員の方を中心として9月17日に記念式典を挙行し、児童



代表の榎田煌くんが「平戸小学校の伝統と歴史を引き継ぎます」と力強く宣言しました。

関連行事としては、OMURA室内合奏団、いっちゃんコンサート、スクールコンサート(村上三慈嬢の三味線)と3つの音楽鑑賞・体験を行いました。

他にも様々な教育活動を行ってまいりましたが、子供たちの命に関わるような大きな事件、事故なく今年を終えることができました。保護者の皆様の本校教育活動に対するご理解、ご協力のおかげであると深く感謝申し上げます。

御家族おそいで、穏やかな年末、新年を

人権を考える

迎えられますよう、お祈り申し上げます。

12月4日、全校児童で人権集会を行いました。山下教頭の話の後、10人前後の異学年のグループでパズルを協力

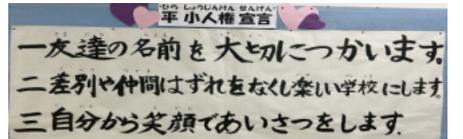


して完成させる活動、人権宣言の発表や全校児童で「パプリカ」の合唱をしました。集会の最後には、活動の感想を発表しました。これらの活動は、

「自分自身が、家族や地域の人々にとって大切な存在であることに気づかせ、自分と同じように他の人を大切にしなければならないことを理解させる」「相手の立場に立つて考える



させ、差別やいじめをしない、許さないといい態度を育てる」ことを目的としています。なお、平戸市立平戸小学校の筆者は、赤木壮輔君、江口友南さん、畑中研人君です。



企業見学バスツアー

12月12日、5年生が企業見学バスツアー(主催：平戸市商工物産課)に参加しました。子供たちはグループ別に赤木コーセイ、山内造船、市役所、白石建設、福田酒造、アリエス、港佑産業、田平ホーム、島の館、文化センターなどを見学しました。見学を通して子供たちは、地元平戸にも素晴らしい技術を持つ企業がたくさんあることを実感しました。



や、そこで働く方々の篤い思いを学びました。この事業は、子供たちにとって将来、地元企業への就職につながる進路選択のきっかけになることが期待されています。

ペットボトルキャンプ

ご家庭にも協力を依頼し、毎週金曜日(持ち帰り)のペットボトルキャンプ74・4kgを運営委員会の子供たちが平戸市社会福祉協議会へ届けました。届けたペットボトルキャンプは、西部古紙センター株式会社を通じて、「NPO法人エコキヤップ推進協会」に寄付され、貧困した国の子供たちの医療費や支援金として活用されます。ご協力ありがとうございました。



赤い羽根共同募金運動

12月3日に運営委員会の子供たちが社会福祉協議会へ届けました。

この募金は、新入学生交通安全帽子、子育て応援事業、福祉体験学習などの福祉教育他、有効に活用されます。

社会貢献の方法の一つとして寄付活動に賛同することは、子供たちにとってもよい経験になると思います。物価の高さが、赤い羽根募金活動のご協力ありがとうございます。



13,026円

キャプテン翼カップ かつしか2025選手派遣

1月11日、12日に東京都葛飾区で開催されるこの大会は、「キャプテン翼」の原作者である高橋洋一氏が主催するサッカー大会です。平戸市代表として本校の6年生5人が選ばれ

ました。漫画の主人公「翼くん」のような活躍を期待しています。

平戸市代表選手



- 6年 榎田 煌
- 納屋 紘
- 田中陽々紀
- 永富大峨
- 山本琉生

子ども県展入賞者

第70回長崎県子ども県展入賞者を紹介します。

1年 糟谷 青

木寺 雫

3年 本山叶希音

崎村詩織

墨屋凜心

4年 永富煌明

白石大雅

5年 山本莉央

石田悠真

鴨川涼乃

吉本弥央



先生クイズで盛り上がり

12月18日、児童集会で運営委員会が「先生クイズ」を行いました。先生の食の好みや好き

な色などのクイズ

や、キーワードか

ら先生の名前を当てるクイズで楽しみました。

ほぼ全員が分かったクイズの一例です。

「赤が好きなのはだれでしょう？」

答えは、…お子さんにお聞きください。



平戸市学力調査

12月10日、全校児童が、平戸市学力調査に挑戦しました。この学力調査は、平戸市内小中学校児童生徒を対象で、教科は国語と算数です。問題は、一問一答の問題はほとんどなく、意見交流や議論など対話的な学習場面から出題されます。

暗記のみに頼ってはいけません。解答することは難しいです。普段の

普段の



授業での学び合いや調べ学習などの経験も成果に現れます。

結果は、2月ごろ届く予定です。個人票もお渡ししますので、参考にさせていただきます。

地震体験

12月3日に、平戸消防署の方のご指導で3・4年生が地震（揺れ）体験をしました。想定は、平成17年（2005年）3月20日に起きた福岡県西方沖地震です。

毎年、地震の避難訓練はありますが、実際に揺れを経験することは、ほほありません。子供たちにとって、地震の揺れを体験できる、貴重な時間となります。



冬の交通安全

12月18日から3日間、年末の交通安全県民運動に合わせて、平戸小の交通安全少年団と6年生が交通安全啓発活動を行いました。保護者の方にもご協力いただきました。

交通安全少年団は寒さに負けず、元氣よく旗を振り、笛を鳴らします。



車の運転手の皆さんから笑顔で応援してもらっています。冬休みの間、子供たち、保護者の皆様が交通事故に遭わないことを願っています。

ブラッシング指導

12月6日、学校歯科医師の大森先生と歯科衛生士さんが、6年生を対象にブラッシング指導を行いました。

大森先生の口腔ケアの大切さのお話のあと、染め出しをして、自分のブラッシングの状況

を確認しました。

6年生といえども、手鏡で確認すると

赤い部分が所々に残っています。

虫歯は、風邪のように自然治癒力は効果なく、悪化するばかりです。日頃の口腔ケアをしつかり行いましょう。



12月25日から1月7日まで冬休みに入ります。子供たちには、学校生活から離れ、自由な時間が増えます。

ご家庭では冬休みのメディア使用についてのルールを確認をお願いします。報道でも存じのように全国の不登校児童生徒数は過去最多です。きっかけは様々ですが、不登校の子供たちの多くは、家での生活をほぼメディア（主にネット）使用で過ごしているようです。ぜひ親子でルールの確認をお願いします。